

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和5年3月15日

計画の名称	相模川・酒匂川流域における下水道施設の整備（重点計画）									
計画の期間	平成30年度	～	令和2年度	(3年間)			交付対象	神奈川県		
計画の目標	下水道施設の整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。 下水道未整備地域の施設整備を重点的に実施することで、早期の下水道普及率向上、水環境改善を目指す。									
計画の成果目標（定量的指標）	①酒匂川流域箱根小田原幹線の整備延長を2.0kmから4.2kmへ増加させる。									
定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標値	備考	
							当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R2末)	既計画から重点計画を切り出したため、成果指標については、事後評価等を関連事業と一体的に実施する。
							22%	27%	46%	
①箱根小田原幹線整備延長 整備済み延長(km) / 計画延長(km)										
全体事業費 (百万円)	合計 (A+B+C)	1,054	A	1,054	B	0	C	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
	令和4年度
計画策定主体である神奈川県で事後評価を実施した。	公表の方法
	県のホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H28	H29	H30	R1	R2		
A07-001	下水道	一般	神奈川県	直接	神奈川県	処理場	新設	相模川流域下水道（処理場・ポンプ場他）A1-1-1	効率的な施設計画検討業務	平塚市・茅ヶ崎市						25	
A07-002	下水道	一般	神奈川県	直接	神奈川県	処理場	増設	酒匂川流域下水道（処理場・ポンプ場他）A1-4-1	効率的な施設計画検討業務	小田原市						18	
A07-003	下水道	一般	神奈川県	直接	神奈川県	管渠（汚水）	新設	酒匂川流域下水道（幹線管渠）A1-4-31	箱根小田原幹線整備	小田原市						1,009	
A07-004	下水道	一般	神奈川県	直接	神奈川県	—	—	下水道広域化推進総合事業	広域化・共同化検討業務	茅ヶ崎市外						2	
											合計	1,054					
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H28	H29	H30	R1	R2			
											合計						

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H28	H29	H30	R1	R2		
合計													0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				

**2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況**

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		箱根・小田原幹線の全延長9.2kmのうち、3.8kmの整備が完成し、下水道未普及地域の解消に向けて進捗した。				
II 定量的指標の達成状況	指標①（箱根小田原幹線整備延長）	最終目標値	46 %	目標値と実績値に差が出た要因	想定外の地盤への対策方法の検討に時間を要し、事業進捗に遅れが生じたため、目標値を下回った。	
		最終実績値	41 %			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）						

**3. 特記事項（今後の方針等）**

引き続き、次期社会資本総合整備計画（第III期）において、幹線整備を実施し、下水道普及率の向上と水環境改善を目指す。